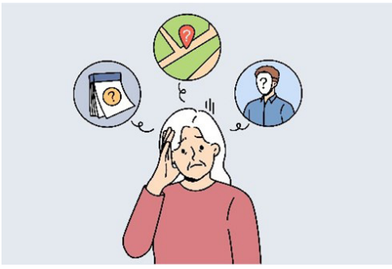
SDGs新聞	太陽生命保険株式会社
早めが大事！脳を守ろう	

SDGsラジオを読んでみよう！

みなさんは、「認知症」という病気を知っていますか？
認知症は、脳の病気といわれていて、考える力が弱くなったり、物忘れがひどくなったりします。
そして、健康な状態から認知症になる手前の段階を「軽度認知障害（MCI）」といいます。
この軽度認知障害に早く気づくことができれば、認知症になることを防げるかもしれないんです。
そこで、生命保険会社の「太陽生命」は軽度認知障害のリスクを調べられる検査の案内をしています。
この検査では、血液を少しだけ採って調べることで、軽度認知障害になる可能性を知ることができます。
太陽生命は、病気のリスクを早く発見したり、予防したりするサービスの案内を通して、人々の「元気」を支えているんですよ。
健康に生きていくためには、自分の体に何か変わったことがないかをしっかり確認することが大切。
ぜひ、家族のみなさんに認知症や軽度認知障害について教えてあげてくださいね。

SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：日常での困りごとのイメージ

私たちの脳はいろんなことを考えたり、覚えたり、判断したりする大切な働きをしています。その大切な脳の病気のひとつに「認知症」があります。「認知症」になると、脳の働きが少しずつ弱くなったり、うまく考えたりすることができなくなってしまい、いつもの生活に困りごとがでてきます。そして、認知症になる手前に「軽度認知障害」という段階があります。軽度認知障害は「MCI（エムシーアイ）」とも呼ばれ、毎日のくらしに認知症ほどの大きな影響はありませんが、物忘れが少しずつ目立ちはじめるようになります。この軽度認知障害の段階で気づいて対策をとることで、認知症になるのを防げるかもしれないと考えられています。

MCIプラス スクリーニング検査®

画像参照：「MCIスクリーニング検査プラス」イメージ画像

そこで、生命保険会社の「太陽生命」は、軽度認知障害になりやすいかどうかを調べられる「MCIスクリーニング検査プラス」の案内をしています。この検査では、少しだけ血液を採って、脳の健康に関係ある「タンパク質」という成分の量を調べます。数種類のタンパク質の量を調べることで、いま、または将来に軽度認知障害になりやすいかどうかを知ることができます。
このように太陽生命は、生命保険会社として「認知症になってしまった人」を支えることはもちろん、認知症になる前に気づいて予防できるように、この検査を案内し、健康なくらしを守る取り組みを行っています。毎日のくらしの中で、自分の体や心の変化に気づくことが、健康を守る第一歩です。
自分のことと同じように、家族やまわりの人の体の変化にも目を向けて、みんなで支えあえる社会をつくっていくことが大切です。

キーワード

認知症

脳の働きが弱くなって、ものを覚えたり、考えたりすることがうまくできなくなってしまう病気のことです。いつもはできていたことが、うまくできなくなってしまいます。

軽度認知障害（MCI）

健康な状態から認知症になる手前の状態のことで、物忘れが目立つようになります。

タンパク質

体をつくるもとになる大切な成分です。筋肉や骨、肌や髪の毛などをつくったり、体を元気に動かしたりするために必要です。

対象ゴール

3 すべての人に健康と福祉を

17 パートナーシップで目標を達成しよう

みなさんにできること！

家族やまわりの人たちに、認知症や軽度認知障害（MCI）について教えてあげましょう。

おさらい

- 軽度認知障害（MCI）に早く気づいて対策することで、認知症を防げるかもしれない。
- 太陽生命は「軽度認知障害（MCI）になりやすいかどうか」を調べられる検査を案内している。
- 太陽生命は病気の予防につながる取り組みで、人びとの健康な生活を支えている。

メモ

SDGsラジオ